



秋の読書旬間

11月18日(月)～12月6日(金)まで秋の読書旬間です。旬間中は、①朝の斉読書、②家庭読書の記録、③読書郵便、④図書委員会の発表、⑤読書パズル、⑥読書ビンゴ、⑦姉妹学級読書、⑧読み聞かせバイキング、⑨「まあるいたまご」さんによる読み聞かせ、⑩図書委員の読み聞かせ等、本に親しむたくさんの方の取組がありました。

校長講話 11月21日

今週は、読書旬間です。先週は、図書委員会のみなさんの発表や読書カードや読書郵便、読書パズルやビンゴなど楽しい企画がたくさんあります。旬間中にたくさんの方に本に触れてほしいと願っています。

さて、今日は、昔話のお話をします。「むかしむかしあるところに……」こんな話をおじいちゃんやおばあちゃんたちから聞いたことがありますね。私たちが住んでいる佐久地域にもいろいろな昔話がたくさんあります。語り継がれてきた昔話のことを「民話」といいます。

ここに、「佐久の民話」という本を借りてきました。臼田のお話もありました。例えば「臼田の中沢川にカッパがいた。」というお話や「勝間の名前は縁起が良いといって、武田信玄という殿様が座って休んだ兜石がある。」「双子池には龍になった少年がいる」というお話などが書かれています。

今日は、山の背くらべというお話を読みますので聞いて下さい。

……読み聞かせ……

みなさんの住んでいる佐久市や臼田地区には、たくさんのお話があります。おじいちゃんやおばあちゃんたちはみんなが知らないような昔話を知っているかもしれません。今日は、佐久の民話についてお話しました。秋の夜長、本をたくさん読んで楽しんでほしいと思います。



たくさんのお話と出会いました



姉妹学級読書



「まあるいたまご」さんによる読み聞かせ



図書委員会の発表

「おなか元気教室」4年生

10月30日(水)には、4年生を対象に、北信ヤクルト株式会社の出前授業「おなか元気教室」が行われました。おなかのことについて、様々な視聴覚機器や道具を使いながら、わかりやすくお話してくださいました。子どもたちは、よい生活リズム(早寝、早起き、朝ご飯、朝うんち)をすることで健康に過ごせることを学び、これから「おなか元気」のためにどんなことをするか目標も立てました。



学校保健委員会 講演「心の健康～子どもへの関わり方に着目して～」

11月29日(金)には、学校保健委員会が開催されました。今年度は、スクールカウンセラーの鈴木慶可先生を講師にお迎えし、「心の健康～子どもへの関わり方に着目して～」について講演していただきました。まず、発達障がいとはどういうものなのか。それぞれの特性や支援について、お話いただきました。続いて、子どもへの関わり方について、お話いただきました。子育てに関するストレスの第一位は、「ささいなことですぐに怒ってしまうこと」なのだそうです。怒ることと叱ることは違うのだと鈴木先生はおっしゃいました。そして、怒ることはなぜいけないのか、なぜ褒めた方がいいのかについて、専門的な立場から教えていただきました。怒りとは「自分が困っている」ということを知らせてくれる感情であり、怒りと正しい付き合いしていくことが大切であると教えていただきました。その後、家庭環境を整えるということもお話いただき、さらに、グループに分かれて、講演を聞いて感じたこと等を出し合うグループワークもしました。ご参加いただいた保護者の皆さん、ありがとうございました。

PTA人権教育講演会 「子どもの権利を守るためにできること」

人権教育旬間中の11月8日(金)には、参観日と合わせて、PTA人権教育講演会が開催されました。今年度は、CAP里山の3名の先生を講師としてお迎えし、ワークショップ形式(参加型学習)で、ロールプレイ(役割劇)なども取り入れた講演をしていただきました。講演会には4～6年までの高学年も参加しました。ワークショップやロールプレイに参加しながら一人一人考えていました。また、保護者の皆さんにも多数ご参加いただきました。ありがとうございました。



CAP(キャップ)とは、「Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止)」の頭文字をとって名付けられました。子どもがいじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力など様々な暴力から自分の心とからだを守る暴力防止のための様々なプログラムがあります。

編集後記

朝夕の寒さが身にしみるこのごろです。日が短くなり、暗くなるのが早くなりました。子どもたちの交通安全へ向けの指導をご家庭でもお願いいたします。今月は保護者懇談会があります。子どもたちの成長について一緒に考えたいと思います。よろしくお願ひいたします。〔教頭 依田〕